

野外研修 後日記

関西支部 小林 佐都子

去る五月九日は久しぶりの野外研修で、ご遠方の先生方も早朝からご苦労さまでした。幸い 天候に恵まれ 森野旧薬園や大宇陀の田舎の風情を味わって頂き、大神神社にも一同で参拝させて頂いて 無事にこの日の研修を終えることが出来ました。これは この企画について終始ご尽力下さった田中先生、河村先生、また河村先生には当日 バスの後ろから安全確認の労をお取り頂いたことをはじめ 参加して下さいました諸先生方のお陰だと ほんとうに楽しかった一日をふりかえって 感謝しています。

薬草園での時間がもう少し余裕があればよかったのに と思い、大願寺の薬草料理も回を重ねるごとに変化して 素朴さよりも料理らしくなっていたのには驚きましたが、すぐ後でこの土地ならではのクズキリやワラビ餅までみんなのお腹にちゃんとおさまって 薬草園めぐりも おしゃべりもけっこう良い運動になったナ、と楽しく思い出しています。

佐々木先生が教えて下さった 桜井駅前の街路樹の「チュウリップの木」 後日写真を撮りました。まるで大きなチュウリップが木の上に咲いているようです。

薬草園にも旬日を経て もう芍薬は咲いたかと再び訪ねました。蕾が大きくなっていましたが花はまだです。ムラサキの花が盛りで、ハマナス、ジギタリス、サンショウバラなどが咲いていて、自然の時間の流れを感じます。これから季節が進み気温が高くなると いろんな植物がいつせいに成長し開花してなかなか観察が間に合いませんが、時々訪ねてみようとおもいます。皆様方とも又オウレンやカタクリの花やトリカブトなどを一緒に見に行きたいものです。

私達は「方証一致」ということを掲げて眼前の病患に対するには、正しく「方」を選ばなければならぬし、そのためには「方」を構成する薬物について その薬味薬性を知り、個々の特性を知らねばなりません。生薬を知ることが基本なのだと、くり返し教えて下さった渡邊先生の生薬研修講義や平成薬証論の講義を思い出して居ます。

「医は扱ふべきは方なり、方は俟つべきは薬なり」 <小野蘭山>
この言葉はまさしく名言だと思うのです。

森野旧薬園 2010-5-9 ポドフィルム





フタバアオイ

撮影 2010-5-22 森野旧薬園



撮影 2010-5-18 チュリップの木



附記： 薬草園を案内して下さった原野さんも「薬の専門の方々にお話しできて 自分も楽しくやりがいを感じて良かったです。」とのことでした。

以上